

「横浜マラソン2022」3年ぶりのリアル大会が、いよいよ開催されます！

「横浜マラソン2022」は、10月30日（日）に、3年ぶりのフルマラソンをはじめとしたリアル大会として開催されます。新たなスタート地点「横浜ランドマークタワー前」から約25,000人のランナーが横浜のまちを駆け抜けられます！

今回の大会は、「RE-START YOKOHAMA MARATHON」をスローガンに、コロナ禍による2回の中止を乗り越え、3年ぶりにランナーがスタート地点に立ちます。また、リサイクル（RECYCLE）や再生可能エネルギーの活用に取り組むなど、SDGs達成に向け、環境に配慮した持続可能な大会運営を行います。

さらに、ランナーの皆さんを応援する、豪華ゲストが大会を盛り上げます！

「横浜マラソン2022」の大会概要

主催	横浜マラソン組織委員会（横浜市、神奈川県、（公財）横浜市スポーツ協会ほか）
大会スローガン	「RE-START YOKOHAMA MARATHON」
開催日※1	2022年10月30日（日）8時30分スタート（車いすチャレンジは9時40分スタート）
メイン会場	パシフィコ横浜ほか
参加者数※2	約25,000人（フルマラソン、みなとみらい7kmラン、車いすチャレンジ）
ボランティア数	約5,500人

※1 オンラインマラソンは10月30日（日）～11月13日（日）

※2 オンラインマラソンの参加者は含みません。

今大会の特徴

1 スタート地点が「横浜ランドマークタワー前」に！

スタート地点を前回大会の「みなとみらい大橋」から「横浜ランドマークタワー前」に変更しました。

みなとみらいのシンボル「横浜ランドマークタワー」を背に、横浜のまちの魅力を感じながらスタートを切ることができます。



2 MM地区の魅力を凝縮！「みなとみらい7kmラン」の新設

気軽に横浜マラソンを体験できる「みなとみらい7kmラン」を新設します。

みなとみらい地区を巡り、フィニッシュ地点の臨港パークを目指して、横浜ベイブリッジをはじめとした海沿いの風景を満喫しながら走ることができます。

◎コースの詳細はこちら ⇒ <https://yokohamamarathon.jp/course/>

3 SDGs達成に向けた取組

大会開催によって生じる環境負荷を軽減するため、再生素材を使用した参加賞Tシャツの制作やグリーン電力の導入、電気自動車の活用などSDGs達成に向けた取組を進めます。

◎詳細は別添資料またはこちら ⇒ <https://yokohamamarathon.jp/sdgs/>



参加賞Tシャツ

裏面あり

「横浜マラソン 2022」大会ゲスト

7名のゲストが、スタート地点やコース上で参加ランナーの皆さんを激励し、大会を盛り上げます！

(1) 大会応援ゲスト



たにはら しゅうすけ
谷原 章介 さん
(俳優)
みなとみらい7km ラン参加



たなか りえ
田中 理恵さん
(元体操選手・オリンピック)

(2) ゲストランナー



いちはし あり
市橋 有里さん
(シドニー五輪元女子マラソン日本代表)
みなとみらい7km ラン参加



ふくしま わかな
福島 和可菜さん
(タレント)
フルマラソン参加

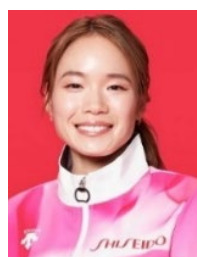


なかむら ゆう
中村 優さん
(タレント)
みなとみらい7km 参加

(3) スペシャルゲスト



すずき けんご
鈴木 健吾さん (富士通)
(男子マラソン日本記録保持者)
スタート式に参加



いちやま まお
一山 麻緒さん (資生堂)
(東京2020大会 女子マラソン8位入賞)
スタート式に参加

テレビ・インターネット放送

インターネットテレビ放送「ABEMA」で、大会当日の様子を生中継します。
また、t v kでもスタート地点及びゴール地点の様子の放送を行います。

【スケジュール】※予定

- 10月30日(日) 8時~15時 ABEMA 生中継
- 10月30日(日) 8時~9時、14時30分~15時 t v k
- 11月13日(日) ABEMA 特別番組 ※詳細は決まり次第、横浜マラソン2022公式サイトでお知らせします。

横浜マラソン2022
10月30日(日)

ABEMA® 8:00~
生中継
TV for the Future



【横浜マラソン2022公式サイトはこちら】
<https://yokohamamarathon.jp/>



「横浜マラソン2022」におけるSDGs達成に向けた取組について

「横浜マラソン2022」は、3年ぶりのフルマラソンをはじめとしたリアル大会開催と循環する大会づくりを目指し、「RE-START YOKOHAMA MARATHON」をスローガンに、サステナブルな大会を目指した取組を推進しています。

服のリサイクルシステムの構築



本大会の参加賞Tシャツは「服から服をつくる®」BRING®※と連携し、不要となったポリエステル繊維の衣類から独自のポリエステルリサイクル技術「BRING Technology®」により再生された「BRING Material®」を一部使用した「BLANK」を採用しています。

本取組によって、おおよそ2.9tのCO₂排出量を削減しています。



10/30の「横浜マラソン2022」当日は、会場にて皆さんの思いの詰まったスポーツウェアや、不要になった衣類の回収を実施します。回収された衣類は、株式会社JEPLANによって素材に応じたリユース・リサイクルがおこなわれます。

※BRING®とは株式会社JEPLANのブランド名です。

再生可能エネルギーの活用



大会運営における再生可能エネルギー活用の取組として、10月30日の横浜マラソン会場における使用電力量及び大会組織委員会事務局での年間使用電力量に相当する20,000kwhのグリーン電力証書を購入します。これにより、おおよそ9.1tのCO₂削減に寄与します。



電気自動車の活用



第1回大会より、先導車両には日産自動車株式会社の提供により排出ガスゼロの電気自動車（EV）がランナーの皆様を誘導しています。

環境に優しいEVの採用により、CO₂排出量の削減に努め、よりクリーンで、より安全な大会運営に寄与します。



環境に配慮した制作物



植物由来素材を使用した参加者の手荷物預け袋や、ボランティアの活動袋の製作及びFSC 認証紙を活用した各種制作物の製作など、環境に配慮した取組を展開しています。



リサイクルに向けた実証実験等



横浜マラソンは、ヨコハマ SDGs デザインセンターのプロジェクトパートナーとして、デザインセンター会員と連携し、大会時に発生するゴミの資源化を目指した紙コップ回収の実証実験を実施します。

その他、株式会社 JEPLAN と連携し、回収したペットボトルからペットボトルへの水平リサイクルを試行します。



各種イベントの実施



大会当日以外にも大会関連イベントとして、マラソンが身近に感じられ、スポーツをすることの楽しさ・充実感が得られる取組や、環境への意識が高められる取組を実施します。

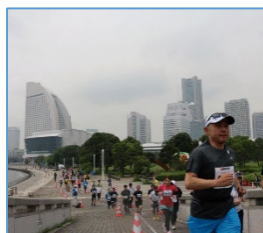
*ランナー向けイベント

10/9 (日) 目指せ完走！ビギナーランナーサポートレッスン

10/15 (土) 女性ランナー限定！マラソン完走サポートレッスン with S/PARK Studio

*クリーンアップイベント

11/13 (日) スポーツ GOMI 拾い



= その他関連イベントの開催 =

ウェルカムサービスの実施

横浜の地元企業等と連携し、公式サイトに掲載するロゴマークを提示することで特別なサービスを提供していただき、横浜マラソンを機に横浜にお越しになるランナーやその同伴者、応援者など多くの方々に横浜を楽しんでいただく企画です。



横浜マラソンフェスタ 2022 の開催

フィニッシュ会場である臨港パークにおいて、ランナーや応援者をはじめとした多くの皆様に、大会の雰囲気を楽しんでいただけるイベントを実施します。協賛社や関係団体のブースにおける取組紹介やキッチンカーの出店などを予定しています。

開催日：10月30日(日) *「横浜マラソン2022」当日 開催場所：パシフィコ横浜 臨港パーク